



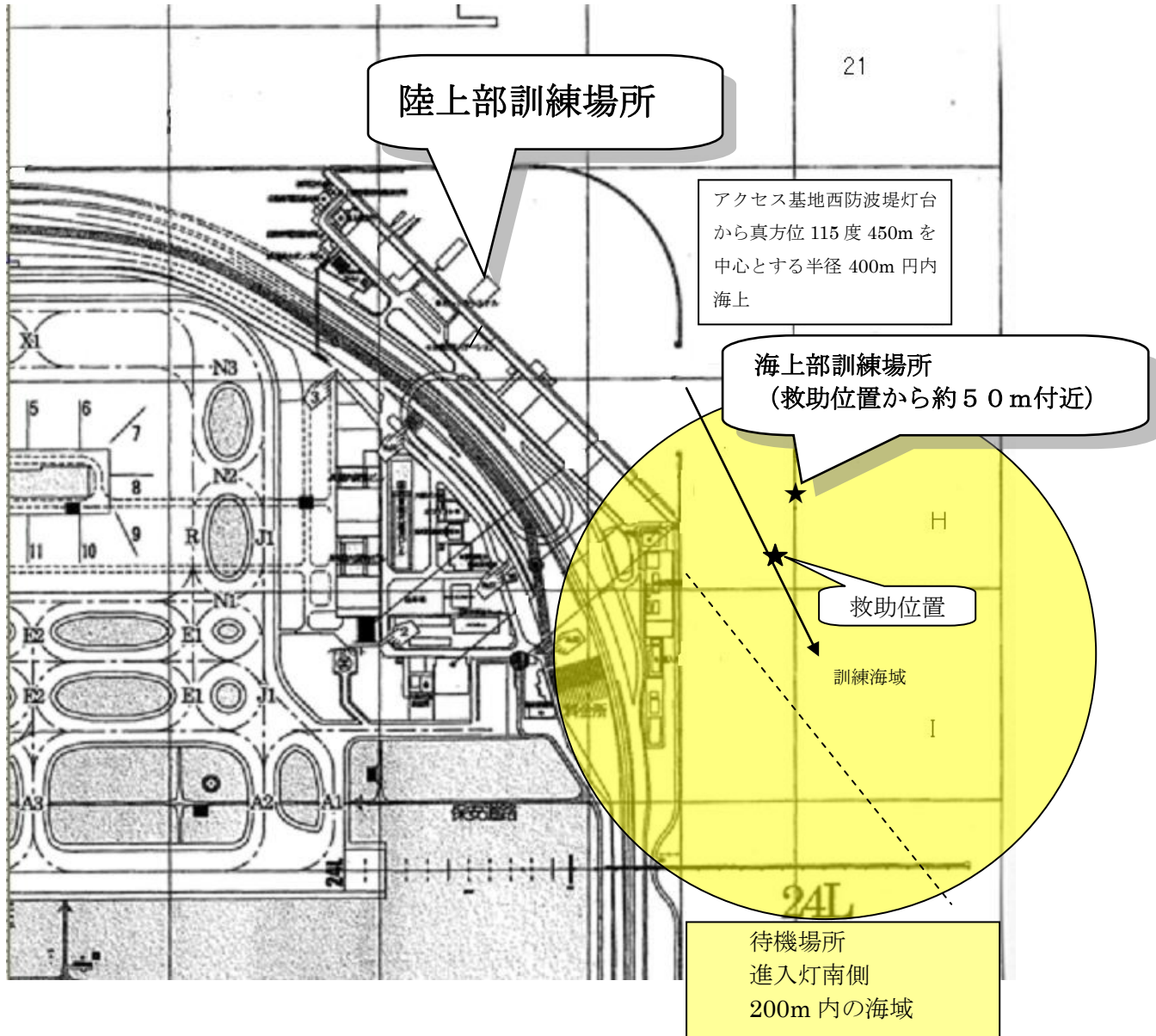
航空機海上事故対策訓練の実施

関西国際空港では空港周辺の海上で航空機事故が発生した場合に備え、関係機関と協力し、乗客の救助や負傷者の救護および病院への搬送訓練を下記のとおり行います。

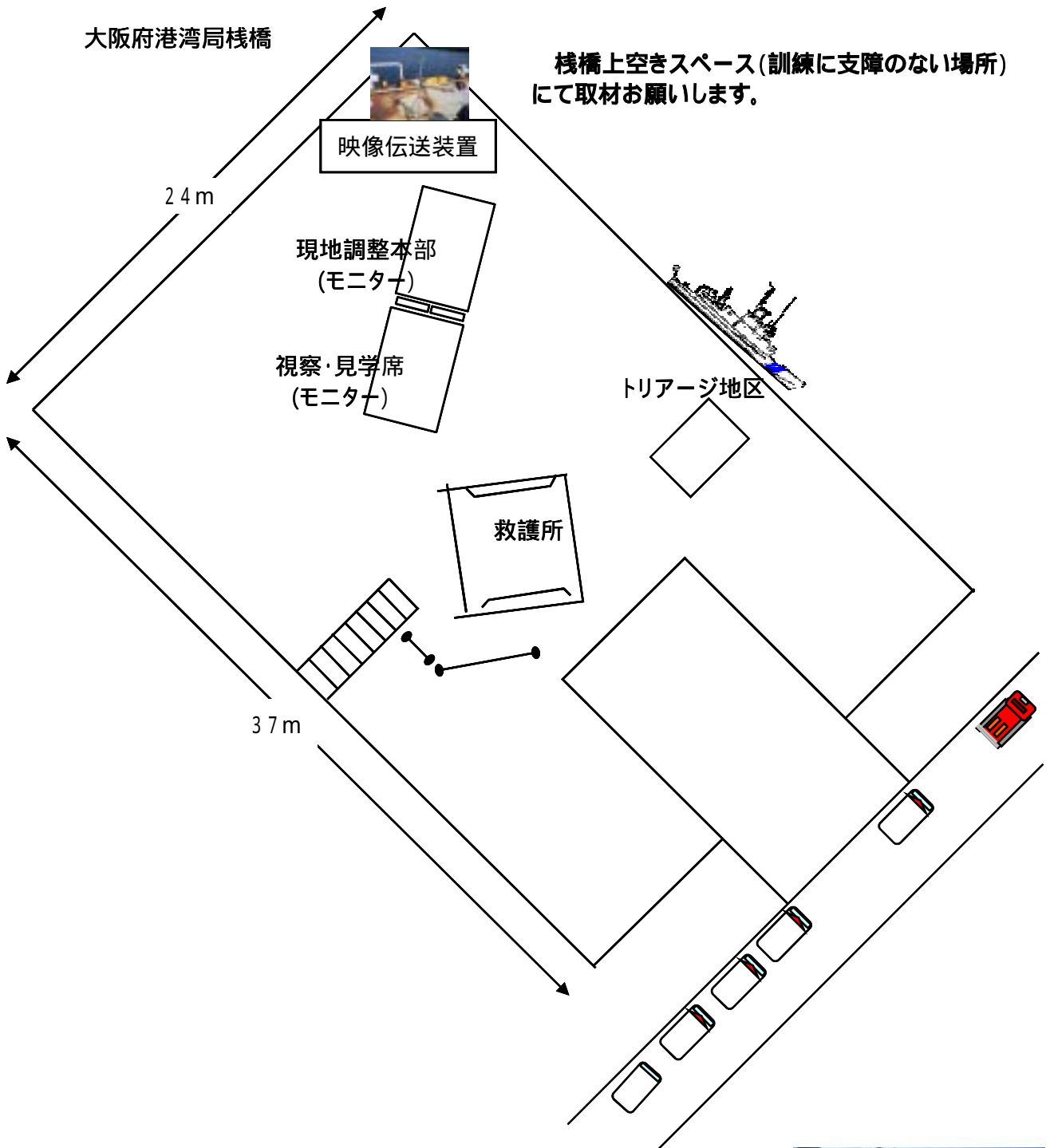
なお、訓練結果については、関西国際空港緊急計画の見直し等に反映させていくこととしております。

記

1. 実施日時 2009年6月25日(木) 14:00～15:00
2. 実施場所 関西国際空港海上アクセス基地および北側海域(別図参照)
3. 主催 関西国際空港緊急計画連絡協議会
4. 参加機関等
 - (1) 参加機関(9機関)
第5管区海上保安本部関西空港海上保安航空基地、大阪航空局関西空港事務所、大阪府大阪水上警察署、大阪府関西空港警察署、大阪府立泉州救命救急センター、泉佐野市消防本部、近畿大学医学部関西国際空港クリニック、(株)日本航空インターナショナル、関西国際空港(株)
 - (2) 参加人員 :約80名
 - (3) 船艇 :4隻
 - (4) 車両 :8台(救急車・ドクターカー等)
5. 訓練の概要
「XYZ航空2009便(仁川→関空)B767-300型機が、A滑走路24Lに進入中、滑走路手前の海上に墜落。乗客等はエスケープスライドに乗り移り機体より脱出、一部が海上に投げ出され漂流中である」との想定で以下の訓練を実施。
 - (1) 海上からの漂流者救助および搬送訓練
 - (2) 現地調整本部(海上連絡所)の設置、運用訓練
 - (3) 海上ターミナル救護所の設置、運用訓練
 - (4) トリアージ、救護活動および搬送訓練



陸上部(大阪府港湾局棧橋周辺)訓練場所



海上漂流者救助状況



棧橋への搬送状況



救護所内での救護活動状況



救急車両への搬送状況